

沼津工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	現代地理学		
科目基礎情報							
科目番号	0002	科目区分	一般 / 選択				
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 2				
開設学科	環境エネルギー工学コース	対象学年	専2				
開設期	後期	週時間数	2				
教科書/教材	教科書は使用しない。適宜、プリントを配付する。						
担当教員	佐藤 崇徳						
到達目標							
1. 地理的な見方・考え方や地理情報の重要性を理解し、自分なりに考えて説明できる。 2. インドアワークとフィールドワークとによって地域を読み解く地理的手法を修得し、実践できる。 3. 地域社会や世界が抱える課題に対して技術がどのように対処していくべきかについて、複数の例を挙げて述べるができる。(A1-4)							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
1. 地理的な見方・考え方や地理情報の重要性を理解し、自分なりに考えて説明できる。	<input type="checkbox"/> 地理的な見方・考え方や地理情報の重要性について、授業で提示された事例以外の内容も盛り込んで、自分なりに説明できる。	<input type="checkbox"/> 地理的な見方・考え方や地理情報の重要性について説明できる。	<input type="checkbox"/> 地理的な見方・考え方や地理情報の重要性について説明できない。				
2. インドアワークとフィールドワークとによって地域を読み解く地理的手法を修得し、実践できる。	<input type="checkbox"/> 地理的事象についてフィールドワークや室内での調査研究活動を行い、その成果について十分な考察を含めてレポートにまとめることができる。	<input type="checkbox"/> 地理的事象についてフィールドワークや室内での調査研究活動を行い、その成果をレポートにまとめることができる。	<input type="checkbox"/> 地理的事象についてフィールドワークや室内での調査研究活動の成果をレポートにまとめることができない。				
3. 地域社会や世界が抱える課題に対して技術がどのように対処していくべきかについて、複数の例を挙げて述べるができる。(A1-4)	<input type="checkbox"/> 地域社会や世界が抱える地理的課題の解決に向けて技術がどのように貢献できるかについて、複数の例を挙げて考察し、自分たちが社会の一員としてどのように生きていく(社会参画する)べきか論述することができる。	<input type="checkbox"/> 地域社会や世界が抱える地理的課題の解決に向けて技術がどのように貢献できるかについて、複数の例を挙げて述べるができる。	<input type="checkbox"/> 地域社会や世界が抱える地理的課題の解決に向けて技術がどのように貢献できるかについて、複数の例を挙げて述べるができない。				
学科の到達目標項目との関係							
実践指針 (A1) 実践指針のレベル (A1-4) 【プログラム学習・教育目標】 A							
教育方法等							
概要	本授業科目は、社会事象に対する地理的な見方・考え方によるアプローチの重要性・社会的有用性についての認識を深め、グローバル化が進む現代社会について地理的な観点から考察するとともに、それをふまえて身近な地域で実践することができる能力を養うことを目的とする。地理的手法を具現化したものとしての地図を中心に、地理的情報に関する基礎知識および扱い方について解説するほか、授業にフィールドワークを取り入れ、地域の実情を具体的に把握する手法を実践的に修得できるようにする。また、グローバル化が進んでいる現代における地理的課題についての関心を高め、国際社会に生きる人間としての自覚と資質を養うことを目指す。						
授業の進め方・方法	授業は教室での講義および調査・地図作業・議論・発表などの活動と野外での巡検(フィールドワーク)から構成される。巡検は、まとまった時間が必要となるため、通常の授業時間割の時間内ではなく、授業がない休日を利用して実施する予定である。実施日時については、授業開始後に受講生の都合をふまえて決定する。						
注意点	1. 試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります 2. 授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。						
授業計画							
	週	授業内容	週ごとの到達目標				
後期	3rdQ	1週	ガイダンス				
		2週	統計で地域を考える	地域経済分析システムRESAS			
		3週	統計で地域を考える	統計でとらえる地方自治体 ― 発表(1)			
		4週	統計で地域を考える	統計でとらえる地方自治体 ― 発表(2)			
		5週	統計で地域を考える	地方創生☆政策アイデアコンテストの取り組み(1)			
		6週	統計で地域を考える	地方創生☆政策アイデアコンテストの取り組み(2)			
		7週	地域景観を読み解く	三島の自然環境と都市内部構造			
		8週	地域景観を読み解く	【巡検】三島の自然環境と都市内部構造			
	4thQ	9週	地域景観を読み解く	【巡検】三島の自然環境と都市内部構造			
		10週	地理的な見方と地理情報	地理学的手法と主題図 ― 地図にすると分かる			
		11週	地理的な見方と地理情報	位置情報の持つ可能性, GNSS			
		12週	地理的な見方と地理情報	地図を作る, 地図と著作権			
		13週	地理的な見方と地理情報	空中写真			
		14週	グローバル時代の社会	自由貿易とフェアトレード			
		15週	グローバル時代の社会	グローバル時代の交通網 ― 国際航空路			
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表・課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	90	0	10	0	0	100
基礎的能力	0	90	0	10	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0

分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0
---------	---	---	---	---	---	---	---